

健康ぷらざ

No.389

企画:日本医師会

接触皮膚炎(かぶれ)にご注意!

ピアスやネックレスをして、赤くなったり痒くなったことはありませんか。

直接肌に触れた金属は、汗などによって少し溶けだし、

皮膚から体内に入ります。

体内に金属が入っても、何も起こらないことが多いのですが、

一部の人の体には、「自分には必要ないもの」として強く記憶されます。

一度記憶された金属がまた体の中に入ってくると、

なんとか体の外に出そうとします。

その結果、かゆみやブツブツが現れます。

これが「アレルギー性接触皮膚炎」です。

金属の中でもっともかぶれやすいのは、

アクセサリによく使われる「ニッケル」です。

歯の治療に使われる「コバルト」や、

革製品に利用される「クロム」、

そして「金」などもかぶれの原因になることがあります。

汗をかく季節には、金属を肌に直接つけないことが大切です。

つけたところだけでなく、

全身にかぶれがひろがってしまうこともあります。

早めにかかりつけの医師に相談し、原因を確かめましょう。

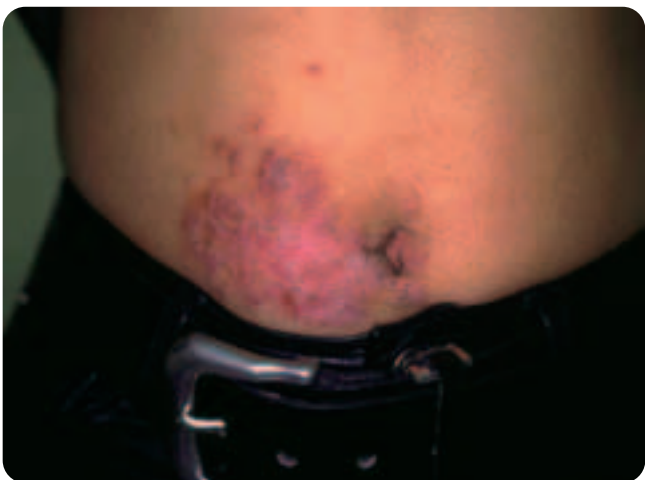
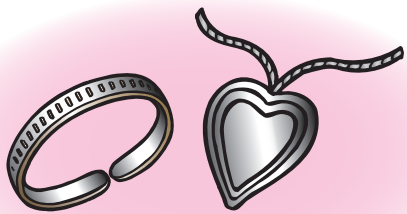


図 バックルに含まれたニッケルによる接触皮膚炎



ニッケル

かぶれやすい金属



コバルト



クロム

指導: 藤田保健衛生大学医学部皮膚科学 教授 松永 佳世子